

第5期 決算公告

東京都文京区向丘二丁目3番10号
東大前HiRAKUGATE 9 階
ARAV株式会社
代表取締役 白久 レイエス樹

貸借対照表
(2025 年 2 月 28 日現在)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
流動資産	499,182	流動負債	222,990
現金及び預金	350,052	買掛金	7,730
売掛金	67,327	未払金	26,054
契約資産	9,245	未払費用	11,979
原材料	20,396	契約負債	10,270
仕掛品	3,068	預り金	4,184
立替金	19,139	短期借入金	130,000
前渡金	4,195	1 年内返済予定の長期借入金	32,190
前払費用	10,369	未払法人税等	580
未収消費税等	15,387		
固定資産	19,775	固定負債	179,615
有形固定資産	16,346	長期借入金	174,000
建物	1,047	資産除去債務	5,085
建物減価償却累計額	△23	繰延税金負債	529
建物附属設備	10,372		
建物附属設備減価償却累計額	△865	負債合計	402,605
機械装置	6,090	純資産の部	
機械装置減価償却累計額	△4,453	資本金	90,000
工具器具備品	20,798	資本剰余金	224,333
工具器具備品減価償却累計額	△16,620	資本準備金	156,666
無形固定資産	566	その他資本剰余金	67,666
ソフトウェア	566	利益剰余金	△197,981
投資その他の資産	2,862	その他利益剰余金	△197,981
出資金	10	圧縮積立金	1,011
差入保証金	2,294	繰越利益剰余金	△198,992
長期前払費用	558	(うち当期純損失)	(182,661)
		株主資本 計	116,352
		純資産合計	116,352
資産合計	518,957	負債・純資産合計	518,957

個別注記表

(2024年3月1日から2025年2月28日まで)

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(ア) 資産の評価基準及び評価方法

① 棚卸資産の評価基準及び評価方法

1. 原材料、仕掛品：総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定）

(イ) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定率法を採用しております。

ただし、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備については定額法を採用しております。

② 無形固定資産

定額法を採用しております。

(ウ) 収益認識に関する注記

当社は顧客との契約から生じる収益について5ステップアプローチ(①顧客との契約の識別、②契約における履行義務の識別、③取引価格の算定、④取引価格を契約における履行義務に配分、⑤履行義務の充足時に収益を認識)に基づき、契約の履行義務を充足した時点で収益を認識しております。履行義務を識別する際には本人か代理人かの検討を行い、契約の性質が自らサービスを提供するものである場合は本人として総額で収益を認識し、サービスを他の当事者により提供されるように手配した場合には代理人として手数料または報酬料もしくは対価の純額で収益を認識しております。また収益は顧客がサービス（資産）に対する支配を獲得することにより（あるいは獲得するにつれて）顧客に資産が移転し、履行義務を充足した時点で（あるいは充足するにつれて）認識しております。なお顧客の資産に対する支配の獲得は当該資産の使用を指図し、資産から生じる残りの便益のほとんどすべてを享受する能力に基づいて判断しております。

当社は建設機械の遠隔化・自動化のための技術を開発しこれを顧客に提供することを主要な事業としており、当該技術を顧客が所有する建設機械に搭載するという履行義務を負っております。当社が技術開発及び建設機械への搭載を進めるにつれて履行義務を充足していると考えられるため、技術開発の進捗率（見積原価総額に対する発生原価総額の割合）に応じて収益を認識しております。取引対価は通常履行義務の充足時より1年以内に支払いを受けているため、金融要素の調整は行っておりません。